

この要望書は10月22日、県や久慈地方振興局などにエチゼンクラゲによる秋サケ定置網被害の支援措置について要望したものです。

今、普代の漁師たちはかつてない数のエチゼンクラゲの被害に苦しんでいます。

この悲惨な現実を皆さんに伝えたくて今回特集を組みました。

漁師たちの願いは一刻も早い、国レベルでのクラゲ対策です。

見てください。これが普代の海の縮図です。

要 望 書



大型クラゲによる被害状況

岩手県下閉伊郡普代村

緊急特集 宝の海を取り戻せ!

主な内容	緊急特集 宝の海を取り戻せ!	2~11	みんなのひろば.....	16~17
	大村仁一さん 瑞宝単光章、村の話題、学校保健大会、スポーツ情報	12~15	声・お便り、読コン優秀賞作品紹介④.....	18~19
			くらしの情報	20~21

エチゼンクラゲと格闘する漁師の苦悩。これが今の普代の海だ！

緊急
特集

宝の海を取り戻せ！



「おわあ、まだクラゲだ〜」。

大漁を願った「今日こそは」と網を巻き上げたが、網の中は巨大なクラゲで埋め尽くされていた。そのクラゲの正体は、最大で2歳、重さ200kgにもなるエチゼンクラゲだ。ぼう然と立ち尽くす漁師たち。大きなため息が周りを包んだ。

今、太平洋沿岸の定置網漁はエチゼンクラゲの被害で関係者の頭を悩ませている。村の定置網もかつては「海のドル箱」とまでいわれ県内でトップクラスの水揚げを誇っていた。漁はこれから最盛期を迎える。しかし、「この現実にはいつまで続くのか」と漁師たちは頭を抱える。

中国沿岸で発生したエチゼンクラゲは、今年も群れをなして対馬海流に乗って日本海を北上。津軽海峡から三陸沖に回り込んできた。そしてさらに南下する。その量は想像を絶する。

クラゲの駆除や破られた網の補修作業で、漁師たちはここ数カ月、例年の数倍の労力を強いられている。大量入網のため、一時、操業を断念した定置網もある。魚であふれていた宝の海で一体今、何が起きているのか。

エチゼンクラゲと格闘する定置網の現場をレポートし、海の未来を考える。

推定1万個体にも及ぶエチゼンクラゲを目にぼう然とする漁師たち(11月27日、午後2時20分=二子定置網)

個体数

底引網、調査船 定置網

- 1~9
- 10~99
- 100~499
- 500~999
- 1000~
- 1~9
- 10~99
- 100~499
- 500~999
- 1000~



■11月30日現在のエチゼンクラゲの発生状況

(岩手県水産技術センター調べ)

秋サケ漁は文字どおり秋から冬にかけて行われ、現在、村内には北から、平磯漁場、秋沼の鼻漁場、村漁協自営定置白井網漁場、同秋赤磯漁場、秋せんま網漁場、二子網漁場、村漁協自営定置黒崎漁場、アーンモ浦漁場、からはし漁場の9力統が操業。約150人が生計を立てている。

村でのエチゼンクラゲの出現は9月7日ごろ、その後次々と9力統の定置網を占領していった。その数は50、500、1万個体と徐々に増え、駆除しきれないほど被害は拡大。11月中旬には一つの定置網に3万個体も入るなど、関係者の想像をはるかに超える数に膨れ上がっていった。

クラゲ駆除の重労働に耐えかね操業を中断した定置網も

「いったい、いつまで続く」



底から浮かび上がってきた大量のエチゼンクラゲ

3隻の船で引き揚げた漁網は、ぶよぶよした茶色い巨大なエチゼンクラゲで埋め尽くされていた。「いだなあ。8千、いや1万があ、皆からため息が漏れた。ほんでもまだいい方だ。起

4年分の体力を使った

11月27日午後1時半、船は太田名部漁港を出港し、約10

分で漁場に着いた。クラゲ駆除のため沖に出るのは今日2回目だという。



クラゲの重さで作業は普段の数倍かかる

「ごすぞー」。熊谷さんの号令で作業が再開された。クラゲは小さいものでは30キ程度だが、2層級の大型になると200キ近い。仮に50キ平均だとしても1万個体で500ト。これを潮の流れを見ながら機械と人力で引き揚げるのだ。想像を超える重労働だ。

ほかの定置網では、潮の流れが速いときはクラゲの重さで網を起こせず、そのまま流されたり、破網したりしたという。その補修作業にも手間が掛かっているのだ。さらに、エチゼンクラゲは触手に毒を持ち、肌に触れる

「今駆除したクラゲ以外にまだまだ網に入っている。今朝も4時から1回目の網を起こした。4年分の体力を使っているよ。人と同じように網も機械も消耗している」。そう言っている熊谷さんは深くため息をついた。

9月上旬に発生し、村内のサケ定置網に入網したエチゼンクラゲ。かつてないほど大量に来遊し、破網や操業中断を余儀なくさせた。駆除の手に追われる漁師たちは「漁が思うようにならない」と嘆く。網の被害を見るため、二子網(熊谷實大謀)漁船に同乗した。

「漁できぬ」浜悲鳴

エチゼンクラゲを見つめる大謀の熊谷さん

と痛みが1日中続き、海水がかかっただけで赤く腫れ上がる。このため、網を二つに割って底から逃がしてやる方法をとっている。「最初は船に引き揚げで刻んでいたが、この量だ。逃がすのが精一杯」と熊谷さんは話した。

クラゲ駆除は困難を極め、漁師たちはこの日も2時間に渡って「海の厄介者」と格闘を続けた。

ある。しかし、網を入れないと魚は捕れない。この葛藤をほとんどの漁師たちが抱えている。「体がもたない。クラゲの量が半端でない。そして毒をもっているが、始末が悪い。魚がけいれんを起こす。本当につら。今年には沖にも陸(浅瀬)にもいる」と熊谷さんは今年



番屋で休憩する熊谷さん。疲労困ぱいだ

のクラゲの量の多さを語る。番屋でのつかの間の休息でも、皆が疲労困ぱい。表現は

「今のところ一部の定置網を除いて漁獲量は前年度比を保

置網では対策網も使用しているが、クラゲと一緒にサケも逃げてしまうという。村漁協の長根利三(とみ)参事は

「抱えながら今日もずっしり重い網を起こしている。

本年度のエチゼンクラゲ発生状況

(財団法人漁業サービスセンターまとめから抜粋)

▶6/23…済州島北側で出現確認▶6/25…東シナ海中央部で目視観測と採集調査により大型クラゲを確認▶6/30…対馬の美津島町の定置網に入網▶7/6…対馬周辺で相次ぐ発見。サイズは30cm以下▶7/17…島根県沖で発見▶7/22…対馬はままとまった出現。壱岐での出現情報あり。山口県沖も出現▶7/27…対馬～山口でまき網でも多数確認。島根半島定置でも確認

▶8/8…対馬で出現続く。東シナ海でも底引網で入網▶8/10…兵庫県、福井県の定置で入網▶8/18…山陰～若狭湾で徐々に増加。石川でも少量ながら広範囲で分布が確認▶8/28…福井県の定置網で引き続き大量出現。長崎県も壱岐などで依然まとまった出現

▶9/7…村の定置網で50キ前後が50個体入網。青森県の底引網で100個体を超える報告。今期岩手で初出現▶9/11…青森県で本格出現。深浦で600個体、北海道でも増加傾向。山口県、日本海全域に依然出現▶9/28…青森県、岩手県も全域でまとまった出現

▶10/6…日本海全域でまとまった出現。福井県、石川県の定置で1000個体超の出現続く。千葉県で初入網。底引網、まき網などで入網▶10/26…村全体で2万5千個体入網

▶11/5…日本海、太平洋とも引き続きまとまった出現。静岡伊東市でも500個体確認▶11/11…北海道はサケ定置で相当数を確認。三重県は引き続き少量の分布。日本海では依然まとまった出現▶11/16…村の1力統に3万個体入網▶11/18…山陰、若狭、オホーツク海、太平洋と全域で分布を確認▶11/30…北海道や岩手などで依然大量出現。日本海は沖合を中心に広範囲で引き続き出現。今期和歌山で種未確認のクラゲ確認情報

原因は中国の開発など

エチゼンクラゲの大襲来は、かつて数十年に1度の珍事だった。それが近年しきりに起きる。なぜか？ クラゲの大量発生を探る広島大学の上真一教授(59)は、「中国の開発」「地球温暖化」「魚の乱獲」が原因と話す。上教授の研究資料などからクラゲ発生原因と輸送ルートを探る。

人間生活の営みが誘発

広島大学の上真一教授は、エチゼンクラゲの研究を進める第一人者で、世界で初めて人工繁殖に成功した人物だ。上教授の研究資料とインタビュを基に、エチゼンクラゲの発生原因などをまとめた。

平成14年、日本海でエチゼンクラゲが大発生し、数十億円という漁業被害を出した。そのころ、上教授は瀬戸内海で増加したミズクラゲの研究に取り組み、調査結果を①温暖化②富栄養化③魚類の乱獲④コンクリート岸壁などの増加——とまとめていた。

上教授は、今後エチゼンクラゲは必ず問題化すると予想し、日本—中国間のフェリーに乗り目視などでエチゼンクラゲの調査を実施。次のような結論に至った。

エチゼンクラゲが分布する黄海、東シナ海、日本海は東アジアに囲まれた海。(上図参照) 人間活動の盛んな瀬戸内海でミズクラゲが増加したように、開発が進む中国沿岸の人間活動の高まりを考えれば、エチゼンクラゲが増加しても不思議ではない——と。人間生活の営みがクラゲの大量発生を誘発していた。



水温上昇で幼クラゲに

エチゼンクラゲの発生源は、中国本土と朝鮮半島に囲まれた渤海、黄海、北部東シナ海の沿岸部にある。そして、エチゼンクラゲは毎年初夏(日本の5月上旬)の水温上昇が刺激となって、ポリプから幼クラゲになる。韓国西岸で発生した幼クラゲは、成長しながら南下流に乗り対馬海峡付近に輸送される。

一方、中国沿岸で発生した幼クラゲは、東シナ海沖合へと輸送される。そこには台湾海峡を北上する流れと黒潮を起源とする対馬海流が南方か

「東京湾」でも大発生か

今年12月11日、上教授は久慈市小袖漁協の定置網でクラゲ調査を行った。雌雄のクラゲは皆成熟し、いつでも産卵できる状況だったという。

しかし、それが翌年のクラゲ発生には結びつかないと話

す。その理由は「クラゲが発生している中国近海は、大きな湾でそこに川が流れ込む。しかも浅くて泥海、動物プランクトンが多い環境。だが、日本海や三陸海岸は岩場が多く環境もいい。発生の確率は低い」と解説する。

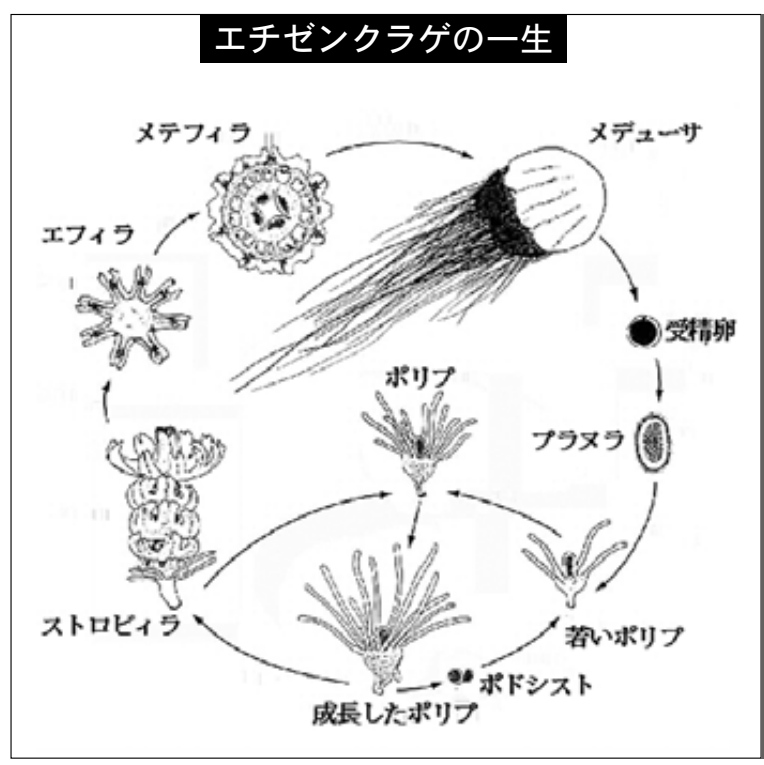
上真一 広島大学教授

理事・副学長(教育担当)で大学院生物圏科学研究科 環境循環系制御学専攻

●クラゲによる深刻な漁業被害を食い止めるため、農林水産省・農林水産技術会議から広島大学が受託し、全国から11機関が参加する大プロジェクトをスタートさせ、そのリーダーとして研究を進める。クラゲの増加や大発生は、基本的には人間活動の活発化に根ざしているが、その因果関係を探ることでクラゲの大発生の予測と制御を目指す。

「これは極めて少ない可能性だが、今年和歌山県までクラゲは到達している。その輸送過程で東京湾に大量に入ったとすれば、東京生まれのエチゼンクラゲが生まれるかもしれない」と。

その言葉に新たな驚異を感じた。



(上教授の資料から)

成熟した雌クラゲから卵が、雄クラゲから精子が水中に放出され受精する。受精卵は発生が進んでプラヌラとなる。プラヌラは繊毛で水中を泳ぎ回って基質に付着し、ポリプへ変態する。成長したポリプはポドシストと呼ばれる細胞の一部をイボのように残して移動し、ポドシストから新たなポリプが生じて無性的に増殖する。水温上昇の刺激により、ポリプからストロビィラへと変態し、ストロビィラは先端からエフィラを放出する。エフィラはメテフィラを経由して約1カ月半後に傘径約10mmのクラゲに成長する。

成熟にはそれから3~4カ月を必要とする。クラゲとしての寿命は1年未満である。ただし、ポリプの寿命は永遠である。

エチゼンクラゲは対馬海流に乗って日本海を北上しながら巨大化し、体重約200g、傘は直径2cmにもなり、雌は10億個以上の卵を産む。



こんな海は、まともな海じゃないぞ!!

今、手を打たないと大変なことになる!!

クラゲ対策 なんとか!!

果てしないクラゲとの格闘で、思うように漁ができない漁師たち。網の改良を行い、試行錯誤を続けるが、気力も体力も限界にきている。漁師た

ちは言う「こんな状況が来年も続いたら、普代の定置網はつぶれるだろう」。こんな海はまともな海ではない。願いは一つ、国レベルの対策を。

待ったなしの状況

国レベルの対策を



ふかわたり ひろし
深渡 宏
普代村長



かまくら けんいち
鎌倉 賢一
普代村漁協組合長

村では、平成14、15、17年の来遊も踏まえ、今季もいち早く県や久慈地方振興局などにクラゲ対策を要望した。要望内容は、エチゼンクラゲの大量発生により、洋上駆除に多額の費用、労力を費やし被害が深刻化し、漁家の経営を圧迫していることから、▽漁家に対する経営資金などの支援の充実▽洋上駆除に取り組み際の助成制度の拡大と要件の大幅な緩和▽クラゲの発生原因の究明と発生初期における駆除について——の3

かつてないほどのクラゲの襲来で本当に困っている。村漁協の定置網では、クラゲの対策網を使っているが、抜本的な解決にはつながっていない。特に10月の下旬と11月の中旬は入網がひどく、大変だった。網の消耗も激しい。購入時の補助なども考えてもらいたい。発生場所を駆除するのが一番だ。そうした中で、中国の近海が発生源だとすると、もはや国と国との問題もある。

点を強く訴えた。一方では、やはり元を断たないとだめだということも挙げられる。発生源での早期の駆除が必要だ。同時にクラゲの生態の解明にも早期に取り組んでもらいたい。浜の現場は待ったなしの状況だ。村の大事な基幹産業でもあるので、本当に切実な問題。漁師の皆さんには、何とか意欲をなくさないで、頑張ってもらいたい。村も今後、関係機関に強く要望していく。

今回のクラゲの襲来は、想像をはるかに超えるものだった。国レベルでの漁業者への資金援助などを考えてほしい。学生がいる漁家では本当に大変な状況だ。クラゲの入網数は、12月に入ってから少し落ち着いたようだが、いつまた現れるか心配が絶えない。とにかくこの大変な状況を皆さんに知ってもらいたい。国が動かないとどうにもならない状況。一刻も早く対策を講じてほしい。

ぼくたちも何かしたい

お父さんは、クラゲ退治のためにいつも疲れて帰ってきます。そしてまたすぐ仕事に行きます。お父さんはあまり若くないので時々体のことも心配です。クラゲが発生する理由はいろいろあると思いますが、クラゲがいなくなるために、ぼくたちにもできることがあれば何かしたいと思います。 太田倫太郎君 (11・太田名部)

休みなく本当に大変だった

10月上旬からクラゲ被害もピークになり、11月まではほとんど休みもなく駆除に追われた。朝4時から正午過ぎまで、5回網を起こしたときもあった。11月はちょうど養殖ワカメの種巻きとも重なり、本当にひどかった。こんな状況が毎年続いたら、普代の定置網は成り立たない。大変なことだ。 橋本秀明さん (49・沢向)

経費分捕れるか…、資金の援助を

いつもなら9月末には網を入れるのに、あまりのクラゲだったので様子を伺っていた。いつまでたっても収まらないようだったので、11月の中旬に網を半分入れて2、3日待機していた。そしたらクラゲの重さで網を沈められた。網が1つしかないで自分たちで修理し、やっと11月30日に網を入れた。今年は経費も捕れるか分からない。今まで水揚げもなかったため給料も払えない状態。5、6年前からのクラゲ被害で借金生活だ。網の予備があればいいが、作る時間もない。本当に不安の中、毎日暮らしている。おれらもできる限り頑張るが、何とか資金の援助やクラゲ対策を考えてほしい。 下坪 福志さん (52・黒崎)

これから海に生きる

大漁願う思いとは裏腹に、生息域を広げて次々と襲いかかるエチゼンクラゲ。今後のクラゲの襲来に漁師たちは大きな不安を抱えている。だが、この海で生きていかなければならない漁師たち。宝の海を取り戻すための本当の闘いは、これから始まる。

「大漁」願う長老たち

村の定置網で捕れたサケなどは太田名部市場に水揚げされる。ある日取材中に市場の事務所で、同地区の太田石三さん（78・太田名部）と出会った。

太田さんは事務所内のボードにある各定置網のサケの水揚げ量を手帳に書き写していた。毎日サケの捕れ具合をメモし、近くの防波堤の上にある東屋でかつての漁師仲間と報告しているという。東屋は、太平洋を一望できる絶景の場所。数人が静かに

太田さんたちは、かつて定置網漁の最盛期を生き延びてきた人たちだ。

昭和54年、自営定置網が始まったころ、村漁協はサケの採卵・ふ化、稚魚育成事業に力を入れていた。昭和54年の1シーズン、サケの水揚げは1675トだったが、ふ化、飼育技術の向上などで、回帰率も伸び、昭和57年には水揚げ3646ト、金額は24億4千万円の史上最高額を記録した。

「海ドル箱」といわれ、秋サケ漁は村を支える基幹産業として根付いていった。

しかし、クラゲが初襲来した平成14年は、水揚げは1153トまで落ち込み、金額は約3億3千万円にとどまった。以来、平成20年からの過去5年の平均は水揚げで年間約1532ト、金額は約5億円と推移している。

「浜は変わってしまったなあ。この大変な状況は何とかならないものが、なあ」と、取材に行った私に振られた。返す言葉がなかった。

長老たちの思いも、また切ない。

太田名部地区の防波堤上にある東屋から海を眺める長老たち



浜は変わってしまったなあ。
おれだちは、大漁を祈るだけだあ。
家族だがらよお。

今後も、大発生は続く

過去最高とまでいわれる大発生で日本沿岸に押し寄せ、猛威を振ったエチゼンクラゲ。茨城県ではシラス漁を断念。千葉県銚子沖では、網に大量にかかり漁船が転覆するという事故も起きた。全国各地で漁業被害は拡大するばかりだ。

になったが、環境破壊にも結び付いた。その結果、海の生態系は崩れた。すべての営みに得るものあれば、同時に失うものもあった。

クラゲ問題は漁師だけの問題ではなく、自然との調和を軽視した、私たち人間そのものの生き方、考え方を問うものでもあった。

漁師は海の守り人

上教授は言う。「エチゼンクラゲの大発生は今後も続く。何もしなければクラゲのいる海が普通になる」と。そして「自分たちの定置網だけ大漁であつて欲しいとの狭い考えでは、これからの定置網漁業は持続しないだろう。魚

クラゲと格闘する漁師たち



に国境はない。日本の海を豊かにするには、東アジア全体の海が豊かなくてはならない。」

さらに「広い海の管理を国が行い、その中で漁民が協力し豊かな漁場をつくっていくかなければならない」と付け加えた。

資源の少ない日本にとって、海は私たちが生きていくための食料を生んでくれる大切な宝物。そして、漁師は私たちにその食料を届けてくれる大切な職業であり、宝の海の守り人なのだ。

網を起こすと、そこに大量の魚が入っているときもあれば、逆にほとんど捕れないときもある。明日も大漁だとは誰にも分からない。大漁であつて欲しいと願うだけだ。それが自然を相手に仕事をすする者の宿命だ。

でも、この海で家族を守り、命をつないでいかなければならない。今、日本の海で何が



本当の闘いはこれからだ。さあ、皆立ち上がれ！ 私たちの「宝の海」を取り戻そう！

起きているのか。遠い道のりなのかもしれないが、豊かな海を取り戻すために、どんな手立てが必要なのか。今、誰よりも海を知り尽くしている漁師たちの力が試されている。

体力の限界を超えながら、必死にクラゲと闘い続ける時代の漁師たちの底力なら、きっと乗り越えるはずだ。そう信じている。

秋の叙勲 大村さん受章

瑞宝単光章

海上保安(太田名部港南防波堤灯台火監視協力者)

政府は11月3日付けで、平成21年秋の叙勲受章者を発表し、村から大村仁(よしむね)さん(71)太田名部が瑞宝単光章の荣誉に輝きました。

大村さんは同灯台が出来た昭和47年10月から現在までの37年間、太田名部港防波堤灯台火監視補助員として、漁業の傍ら、灯台の光がともるか毎日確認。漁船などの安全

運航に貢献しました。

港の見える高台に自宅がある大村さん。「航海する船が迷わないようにと、毎日庭に出て緑の明かりを見ていました。次第に家族の中でも灯台の光を見ることが日課になっていました。もう30年以上もたつんですね」と大村さんは話し、家族の皆さんと受章を喜んでいました。



長年にわたる灯台火監視協力者で瑞宝単光章の荣誉に輝いた大村さん

文科省局長表彰に「ふだいっ子広場」



受賞を喜ぶ長澤さん(中央)とスタッフ、広場に集まった子どもたち

本年度の放課後子ども教室推進表彰(文部科学省生涯学習政策局長表彰)に、「ふだいっ子広場」(村放課後子ども教室推進実行委員会主催)が選ばれました。放課後の居場所づくりと学童保育の役割を担っていることが評価されました。

ふだいっ子広場は、村の幼児から児童を対象に、平日は午後3時から5時、土曜は午前中の週6日、パソコン16台や学習スペースを備えるふだい交流センターを子どもたち

ちに開放しています。広場には、地域の主婦らで構成する有償ボランティアが当番制で常駐。午後5時以降は登録制で利用でき、仕事で忙しい家庭を支援しています。

コーディネーターの長澤富士子さん(55)中央区は「広場に来れば、誰かに会えて、何かができる」ということが、子どもたちの中に広がってきています。皆さんのご協力です。場として定着できてうれしいです」と喜びます。

山下マツノさん100歳 うねとり荘で祝う会



100歳の誕生日を迎えた山下さん

特別養護老人ホーム「うねとり荘」(宇部)に由明施設長、入所者60人が入所する山下マツノさんが11月10日、100歳の誕生日を迎えました。

長寿を祝う会では、家族や同ホームの入所者が見守る中、深渡宏村長や普代福祉会の野崎幸太郎理事長が長寿の証や花束などを手渡しました。山下さんは野田村出身で明治42年生まれ。親族の皆さんからひざ掛けや似顔絵を書いた色紙などをプレゼントされると山下さんは照れくさそうにしています。

全国納税貯蓄組合連合会 普代中に感謝状



嵯峨納貯連会長から感謝状を受け取る後校長(左)

普代中学校(後忠美校長、生徒89人)にこのほど全国納税貯蓄組合連合会から感謝状

村納税貯蓄組合連合会の嵯峨初三郎会長から後校長に感謝状が手渡されました。

「中学生の税についての作文」の募集を通じて広く納税の高揚に寄与された功績です。伝達式は11月16日同校長室で行われ、

還暦の有志が 児童館に寄付



寄付されたラミネーター(いすの上)

昭和24年生まれの「還暦を祝う会(和久喜美男会長)」が普代児童館(大上和吉館長、園児57人)にラミネーター(透明フィルムを紙などの表面に貼り合わせる機器)を寄付しました。児童館では早速ラミネーターを使って文字を作り、生活発表会などで活用しました。

出前カラオケチャンピオン大会 金城秋男さん3位 IAT出前カラオケグラン ドチャンピオン大会が12月13日、矢野町園ホールで行われ、上区金城秋男さん(63)写真)が見事3位に入賞しました。同大会には、県内のブロッ



秋男さん(63)写真)が見事3位に入賞しました。



くろさき荘で行われた予選大会の様子

ク予選を勝ち抜いた11人が出場。8番目に登場した金城さんは、鳥羽一郎の「だんじり」

普代中学生が職場体験 仕事の大変さ実感



くろさき荘の職員から苦労話などを聞く日野澤君(右)と山田さん

普代中学校(後忠美校長、生徒89人)の1年生27人が11月5、6の両日、村内の施設や事業所で職場体験をしました。訪問したのは村役場、国民宿舎「くろさき荘」、村図書室、久慈消防署普代分署、水産加工場など19カ所。生徒は職場の見学のほか、職員の指導を受けながら実際に作業を手伝いさまざまな仕事に理解を深めました。

そのうち日野澤君と山田彩華さんは、くろさき荘で大変な作業をしました。日野澤君は「掃除機がけが大変で疲れました」と話し、山田さんは「掃除など実際にやってみると大変だと感じました」と仕事の苦労を実感していました。生徒たちにとっては、たった2日間だけの体験学習でしたが、働くことの喜び、苦勞を実感しながら、進路決定や自分の将来を考える機会になりました。

19回村学校保健大会で表彰や講演

よい食習慣を身に付けよう

子どもたちの健やかな成長を願い、第19回村学校保健大会が11月18日、村自然休養村管理センターで行われました。大会にはPTA関係者など約80人が参加。図画・ポスター・標語コンクールの入賞者41人とむし歯ゼロの児童生徒81人を表彰、紹介しました。続いて、盛岡大学短期大学

部の笹田陽子教授が、子どもの食生活と健康と題して講演。笹田教授は「健康な生涯を送るためには、早い時期からよい食習慣を身に付けることが大切です」と訴えました。図画・ポスター・標語コンクールで表彰された児童生徒は次の通りです。(最優秀賞を除く)

● 図画・ポスター標語表彰

- ◇ 図画・ポスター
 小学校低学年の部▽
 優秀賞 太田綾音(普小3年) 道合幸佑(堀小1年)▽
 佳作 赤坂玲美(普小2年) 上方こも(黒小2年) 深渡翔(普小2年)
 ◇ 同高学年の部▽
 優秀賞 川口愛華(普小5年) 上方さくら(黒小5年)▽
 佳作 森田真以(普小6年) 嘉藤瑞紀(同6年)
- ◇ 同中学校の部▽
 優秀賞 山田百華(普小4年) 嘉村魁人(黒小4年)▽
 佳作 榎谷美沙子(普小5年) 銭袋あかね(同) 畠山秀哉(黒小5年)
- ◇ 同高学年の部▽
 優秀賞 野田口和奏(同1年)▽
 佳作 佐々木美紅(同3年) 上方こも(黒小2年) 澤口海音(普小3年)
- ◇ 同高学年の部▽
 優秀賞 山田百華(普小4年) 嘉村魁人(黒小4年)▽
 佳作 榎谷美沙子(普小5年) 銭袋あかね(同) 畠山秀哉(黒小5年)
- ◇ 同中学校の部▽
 優秀賞 下坪夏南(普中3年) 野場勝馬(同1年)▽
 佳作 柳澤夢華(同3年) 中山天(同2年) 澤口末来(同1年)
- ◇ 同保護者の部▽
 優秀賞 藤嶋明美(堀小) 嘉村幸子(黒小)▽
 佳作 太田さなえ(普小) 砂子重良(同) 松家ゆかり(堀小) (敬称略)



バランスのとれた食生活の重要性を訴える笹田教授(右)

新記録が続出、203人健脚競う
16回はまゆりマラソン

各部門3位までの入賞者は次の通りです。



元気にスタートを切る選手たち(小学校低学年・親子の部)

- ◇ 小学校男子低学年の部(1*)
 ①山本寛人(普小3年) 3分47秒
 ②新記録 ③黒山祐成(黒小3年) 4分2秒
 ④新記録 ⑤深渡翔(普小2年) 4分2秒
- ◇ 同女子低学年の部(1*)
 ①赤坂美香(堀小4年) 13分

- ◇ 同女子高学年の部(3*)
 ①赤坂美香(堀小4年) 13分

第16回北緯40度はまゆりマラソン大会が11月8日、役場を発着点に行われ幼児から一般まで203人が健脚を競いました。

- ①太田未蘭(普小3年) 4分3秒
 ②新記録 ③太田綾音(同) 4分18秒
 ④中村泉(同2年) 4分19秒
- ◇ 同男子高学年の部(3*)
 ①柴田樹(黒沢尻北小6年)

- ◇ 同女子高学年の部(3*)
 ①赤坂美香(堀小4年) 13分
- ◇ 親子の部(1*)
 ①砂子重良・仁(緑区) 4分16秒
 ②鎌倉亜紀子・蓮(堀内) 4分52秒
 ③岩崎弘子・椋馬(久慈市) 5分2秒 (敬称略)

- ◇ 同男子高学年の部(3*)
 ①柴田樹(黒沢尻北小6年)
- ◇ 同女子高学年の部(3*)
 ①赤坂美香(堀小4年) 13分
- ◇ 同高学年の部▽
 優秀賞 山田百華(普小4年) 嘉村魁人(黒小4年)▽
 佳作 榎谷美沙子(普小5年) 銭袋あかね(同) 畠山秀哉(黒小5年)
- ◇ 同中学校の部▽
 優秀賞 下坪夏南(普中3年) 野場勝馬(同1年)▽
 佳作 柳澤夢華(同3年) 中山天(同2年) 澤口末来(同1年)
- ◇ 同保護者の部▽
 優秀賞 藤嶋明美(堀小) 嘉村幸子(黒小)▽
 佳作 太田さなえ(普小) 砂子重良(同) 松家ゆかり(堀小) (敬称略)

村民の力作そろそろ
文化祭で展示や舞台発表



さまざまな文芸作品などが飾られた展示コーナー

平成21年度普代村文化祭が10月30日から11月3日までの5日間、役場や保健センターなどで行われました。

1では、来場者が体脂肪などを測定していました。11月3日には、自然休養村管理センターで舞台発表が行われ、普代小6年17人が創作劇「普代空襲」を演じ、観客の涙を誘ったほか、読み聞かせボランティア「本だす会」(金子美枝代表) メンバー4人の朗読、普代中吹奏楽部(澤田奈津季部長)の多彩な演奏、「コーラスライオット風(森田眞奈子代表)」の21回定期コンサートも開かれ、さわやかなハーモニーを響かせました。

会場には、村民が丹精込めて作った生け花や盆栽、ちぎり絵、パッチワークなどをはじめ、川柳や短歌、写真、油絵など多彩な文芸作品を展示。交通安全ポスターや園児の絵画なども飾られました。警察・人権擁護・更生保護コーナーでは、各活動を啓発するポスターなどが張られ、保健師による健康相談コーナー



コーラスライオット風とコールふじ(宮古市)



声・お便り

二 んにちは。先日は職場体験をさせていただきました。取材や撮影のことについて教えていただき大変なになりました。

した。また、働いている方のお話を直接聞くことができ、将来への心構えも少しできました。写真撮影のときは、細かいところまで教えていただき、貴重な体験ができてよかったです。今回、体験させていただいたことを元に相手の気持ちを考えて行動していきたいと思えます。

記者のコーナーを設けようと考えていますが、後、校長先生いかがでしょうか。広報係

広報クイズ

下の2つの絵に違うところが3カ所あります。あ、けのうち、間違っている3カ所を探してみてください。

応募の方法

はがきに答え、

クイズ問題と解答。元絵は子供が遊ぶ様子。間違い探し用は3x3の格子で、各マスに子供たちの顔や手などが描かれ、色や文字の濃さを比較して違いを探す。

みんなのイラスト展

子供たちのイラスト展示。ピカチュウ、ペンギン、女の子の顔、動物の集合、鳥、お車、女の子の服など。各作品に作者の名前と年齢が記載されている。

はじめに、本を読んで、私は、戦争のことを考えました。みなさんは戦争のことを考えたことがありますか。どんな様子を思いつかれましたか。私はとても暗くてほのおがまが上がっている様子を思いつきました。



小学校中学年の部

「平和」ってどんなこと

普代小学校5年 梶谷 美沙子さん

私がこの「平和の種をまく」を読んでもみよふと思っただけがあります。私は、おじいちゃんが戦争のビデオをもっていて、時々その戦争のビデオを見たことがあります。その時に、戦争のことを考えました。戦争をしてきた時と今をくらべ

るとみなさんも分かるように全然ちがいます。なぜこんなに変わったのか、「この「平和の種をまく」を読めばきつと分かると思ったからです。

かしたら死んだりするかもしれません。私は、先生から地雷を見つげるための苦ろつを聞きました。地雷を見つげるためには、シヤベルや手でほると地雷にあたつてばく発するかもしれない。なので、たくさんのお金をかけて金ぞくたん知機でさがすのです。さがしている人達が

でも大変なのです。最後に、本を読み終わって本をとりました。そして、一番うらの写真を見ていると、何かの芽が出ていました。その芽が平和の芽だと私は信じています。いつ花がさくのでしょうか。まちどおしいですね…。

読書感想文コンクール・優秀賞作品紹介④

成人式記念写真 予約受付中! カトウ写真館 普代横町 Tel (35)2594

毎月2日、12日、22日 ポイント2倍デー (有)まるに ☎35-2201

応募総数... 9通で9人が正解でした。抽選の結果、次の5人に図書カードをお送りします。おめでとうございます。 ①野田口礼茄ちゃん(旭日区・5歳) ②熊谷久利実さん(盛岡市・17歳) ③前澤慎吾くん(紫波町・11歳)

駅前食堂 キッチン栄 和、洋、中華料理、弁当(要予約) 営業時間 月～土 11:30～14:00 17:30～22:00 日、祝日 11:30～20:00 定休日:水曜日 ☎0194-35-2312 エビチリ定食 700円

ご存じですか？

必ずチェック！最低賃金

岩手県の産業別最低賃金が下表の通り改正されます。

すべての事業主は、雇用する労働者(パートタイム労働者、アルバイトを含む)に最低賃金以上の賃金を支払わなければなりません。使用者も労働者も必ずチェックしてください。

業種	時間額	発効日
鉄鋼業、金属線製品、その他の金属製品製造業	704円	12/30
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	688円	
光学機械器具・レンズ、時計・同部分品製造業	692円	3/1
各種商品小売業	700円	
自動車小売業	713円	12/30
鉄鋼業	715円 (日額5,714円)	12/10

▶問い合わせ先…詳岩手県労働局労働基準部賃金室(☎019-604-3008)

平成22年 成人式

1月5日(火) 午後1時30分～
 自然休養村管理センター



昨年の式典の様子

募集しています

久慈広域連合で消防職員

久慈広域連合では、平成22年度に採用する職員の採用試験を次の通り行います。

- ▶職種・受験資格…消防職(若干名) 昭和58年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた人(身体条件あり)
- ▶1次試験日・場所…平成22年1月31日(日)・久慈市防災センター
- ▶申し込み受付期間…1月4日(月)～19日(火)

申込書などの交付、受け付けは久慈広域連合総務企画課(☎0194-61-3344)まで。

職場適応訓練の協力事業者

久慈地方振興局では、生活保護受給者の自立を支援するため、職場適応訓練事業の協力事業者を随時募集しています。訓練に協力いただいた事業所には、訓練日数に応じて下記の金額を訓練委託費として支払います。

- ▶課税業者…訓練対象者1人に対し、日額3,150円(150円は消費税)
 - ▶非課税業者…訓練対象者1人に対し、日額3,150円
- ※訓練費の中から750円を訓練対象者に給付してください。
- ▶訓練期間…1カ月～3カ月。20日を標準
 - ▶問い合わせ先…久慈地方振興局福祉課(☎0194-53-4982)

県内の教員を目指す奨学生

九戸地方育英会では、岩手県の教員を志望する大学生に奨学金を貸与する奨学生を次の通り募集します。

- ▶応募資格…①岩手県の教員を志望している学生②学業成績に優れ、品行方正の方③心身ともに健康な方④久慈地区(久慈市、普代村、洋野町、野田村)に本籍を有する人
- ▶採用者数…最大4人
- ▶貸費額…月額3万円。卒業後に貸費した月額の2分の1以上を毎月または年賦などの方法で8年以内に全額償還するもの。
- ▶申込書提出期限…3月27日(土)

※申込書、戸籍謄本など提出書類の詳細については、村教育委員会事務局(☎35-2711)、または九戸地方育英会事務局(久慈市教育委員会総務学事課内☎0194-52-2111、内線434)にお問い合わせください。

除雪にご協力を！

本格的な降雪を控え、通勤・通学の安全な交通確保のため、除雪作業時には次の点にご協力をお願いします。

- ▶道路に車や物を置かない▶自宅前は各自で除雪をしてください
- ▶雪や氷を道路に出さないでください▶除雪車に注意してください
- ▶通学路や生活道路の除雪にご協力ください
- ▶問い合わせ先…役場建設水産課(☎35-2116)

お願いします

堀小・黒小閉校にかかる連絡

堀内小学校と黒崎小学校では、来年3月に学校閉校記念行事を行います。村内外に在住する2校の卒業生で、案内状がまだ届いていない人は、各小の実行委員会事務局までご連絡ください。

- 堀内小学校事務局…☎35-2765
- 黒崎小学校事務局…☎35-2361

電線近くの作業「要注意！」

電線近くで工事などの作業を行う場合は、事業者が電線への防護が義務づけられています。

電気事故が発生すると広範囲な停電になり多くの人のために影響がでます。電線近くでの工事は事前に東北電力までご相談ください。

▶問い合わせ先…東北電力コールセンター(☎0120-175-466)

医科・歯科診療所の休診

12/29(火)～1/3(日)

休診中の病気やけがなどの場合は、県立久慈病院などでの受診をお願いします。

社会体育館、管理センター、B & G 海洋センター、村図書室は12月28日(月)～1月4日(月)までお休みになります。

普代村ふるさと応援基金への寄付状況(11月10日現在)

21年度分 **283,000円** 累計 **1,153,000円**

35件(村内29件、県内1件、県外5件)

普代村ふるさと応援寄付の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。か、総務課(☎0194-35-2111、内線115)までご連絡ください。

困っていたら相談を

4件とも事前に予約が必要です

久慈地区法律相談

- ▶期日…1月14日(木)、25日(月)▶時間…10:30～15:30▶場所…久慈市役所
- ▶予約先…久慈市市民生活部生活環境課(☎0194-52-2111)

多重債務者相談

- ▶期日…1月14日(木)、25日(月)▶時間…10:00～15:00▶場所…久慈地区合同庁舎5階第3会議室▶予約先…久慈地方振興局消費生活相談室(☎0194-53-4981、内線310、412)

精神保健福祉相談

- ▶日時…1月15日(金)13:30～▶場所…久慈保健所(久慈地区合同庁舎2階)
- ▶予約先…久慈保健所保健衛生課(☎0194-53-4987、内線246、247)

エイズ相談・検査、肝炎ウイルス検査、骨髄バンク登録

- ▶日時…1月12日(火)①エイズ相談・検査、肝炎ウイルス検査：14:00～15:00②骨髄バンク登録：15:00～15:30▶場所…久慈保健所(久慈地区合同庁舎2階)▶予約先…久慈保健所保健衛生課(☎0194-53-4987、内線246、247)

「社会保険庁」から「日本年金機構」へ

国は来年1月1日、皆さんの信頼回復とサービスの向上の実現を目指し「社会保険庁」を廃止し、組織・人員を一新した「日本年金機構」をスタートさせます。

●名称などの変更

現在ある社会保険事務所は「年金事務所」と名称が変わります。年金相談などは今までと変わらず利用できます。

「年金事務所」は現在ある社会保険事務所をそのまま使用するの、住所地も変更ありません。ちなみに、宮古社会保険事務所は宮古年金事務所となります。

これまで社会保険庁や社会保険事務所の名義で案内していた書類などは、内容によって今後は厚生労働省または日本年金機構の名義で届きます。

内部的に変わる点は多くありますが、皆さんがこのことで何か手続きを必要とするといったことはありませんのでご安心ください。

▶問い合わせ先…宮古社会保険事務所(☎0193-62-1963)

●年末・年始イベント

第1弾 年末謝恩 ポイント2倍セール
 期間：12月15日(火)～25日(金)の11日間

第2弾 新春! 満点カード お年玉セール
 満点カード500円で期間中1,000円のお買い物

期間 平成22年1月8日(金)～11日(月)の4日間

普代ポイントカード会からののお知らせ!!

「毎月10名様にラッキーチャンス、2,000円の商品券が当たります」11月当選者は以下の方々です。

赤坂義彦様(白井) 及川翔様(中央区) 葛形さおり様(緑区) 熊谷勤巳様(田野畑村) 銭袋千春様(中央区) 長澤エイ様(旭日区) 畠山伊代子様(黒崎) 古沼シヅエ様(茂市) 柳浩二様(旭日区) 山崎えみ子様(茂市)

普代ポイントカード会 普代商工会内 ☎35-2132

1月のこんなこと、あんなこと

日	月	火	水	木	金	土
		29 (赤口) 役場は12月29日から1月3日まで閉庁になります。各種手続きなどはお早めに。	30 (先勝)	31 (友引) その成長 願う心と チャイルドシート	1/1 (先負) 元旦	 寝正月?
	4 (赤口) ・冬期特定健診・ がん検診、㊟	5 (先勝) 普代村成人式 (13:30～、㊟) 新年交賀会(17:00 ～、くろさき荘)	6 (友引) ・ヘルスアップ教 室①(10:00～12:00、 ㊟)	7 (先負) ・ジフテリア・百 日ぜき・破傷風、 麻しん、風しん混 合I期予防接種 (受け付け13:30～ 13:45、㊟)		9 (大安) ・なかよしランド (9:00～12:00、㊟) 体育施設無料開放日
10 (赤口) 普代村消防団出初 式(14:00～役場 駐車場ほか)	11 (先勝) 成人の日		13 (先負) ・ヘルスアップ教 室②(10:00～12:00、 ㊟)		15 (赤口) ・普代中3学期始 業式	16 (先勝) ・なかよしランド (9:00～12:00、㊟)
17 (友引) 三鉄利用促進デー	18 (先負) ・普代児童館3学 期始業式	19 (凶減) ・黒崎小3学期始 業式	20 (大安) ・普代小・堀内小 3学期始業式	21 (赤口) ・堀内・黒崎キッ ズプラザ ・ヘルスアップ教室③ (10:00～12:00、㊟) ・2歳児健康教室 (受け付け12:00～ 12:15、㊟)		23 (友引) ・なかよしランド (9:00～12:00、㊟)
	26 (大安) ・BCG接種(受け 付け13:30～13:45、 ㊟)	27 (赤口) ・2歳6カ月児歯 科教室(受け付け 12:00～12:15、㊟) ・ヘルスアップ 教室④(10:00～ 12:00、㊟)	28 (先勝) ・堀内・黒崎キッ ズプラザ ・乳児健診(受け 付け12:00～12:30、 ㊟) ・ブックスタート、 ㊟		㊟は保健センター ㊟は北緯40度野球場 ㊟は社会体育館 ㊟は管理センター ㊟はふれあい交流 センター ㊟は医科診療所 ㊟は子育て支援室 ㊟は海洋センター	

冬の運動
気をつけて
くだちやいね!!

三鉄サポーターズ通信

三鉄で行ってみよう!!
沿線市町村のイベント情報!

- 宮古鮭まつり(宮古市)
1月3日(土)・津軽石川河川敷
豪快なサケのつかみ取り、イクラのすくい取りが人気。(問い合わせ先…宮古観光協会 ☎0193-62-3534)
- 釜石冬の味覚まつり(釜石市)
1月17日(土)～18日(日)・シープラザ遊
毛ガニやアワビ、タラなどの水産物や北東北横軸連携加盟市の特産品販売、横手市の出前かまくら、花巻市の出前足湯体験など好評です。(問い合わせ先…釜石物産観光協会 ☎0193-22-5853)
- 北三陸くじ冬の市(久慈市)
1月18日(日)、2月28日(土)・まちなか久慈周辺
三陸久慈の新鮮な海の幸、山の幸はもちろん、郷土芸能発表など盛りだくさんの内容です。(問い合わせ先…同実行委員会 ☎0194-52-2123)
- つばきまつり(大船渡市)
1月18日(日)～3月22日(日)・世界の椿館・碁石
太平洋沿岸のヤブツバキの北限として知られる大船渡市。世界13カ国、260種の椿が見ごろを迎えます。花の寄せ植え体験や椿の生け花、椿油の料理の試食など多彩なイベントが行われます。(問い合わせ先…同実行委員会 ☎0192-27-3111)



証屋副村長から表彰状を受け取る歩音ちゃん

うまくかけたよ!

正路歩音ちゃんが普代村長賞

三陸鉄道(山口和彦社長)の園児絵画展「お絵かき列車」で、黒崎の正路歩音ちゃん(普代児童館)の作品が普代村長賞を受賞しました。

作品は、友達と海に入って楽しく遊んだ様子を描いたもので、笑顔とカラフルな色使いが評価されました。伝達式は12月16日に役場で行われ、証屋伸夫副村長が歩音ちゃんに表彰状を手渡しました。

作品は、普代児童館年長組の園児と保護者ら約40人が7月1日、三陸鉄道で宮古市の浄土ヶ浜に行つたとき作画。絵画展には三鉄沿線沿いの9市町村から544点の応募がありました。応募作品を展示する「よくできました号」は2月7日まで運行します。

三鉄News

三鉄まじりに500人!

開業25周年を記念した秋のさんてつまつりが11月1日、三陸鉄道久慈駅などで行われ、約500人の三鉄ファンでにぎわいました。

クイズ大会やグッズ販売、指令室の見学などのほか、車両基地では親子らが車両に応援メッセージを書き込んでいました。

やませ土風館では全国鉄道むすめサミット(写真)が開かれ、運転士をモデルにしたキアラクター久慈ありすファンが殺到しました。

12月30日・31日、1月2日より前撮・撮影受付いたします。

祝ご成人

2010' 記念写真ご予約受付中!

普代村中央区 まつば時計店 ☎35-2276

オフィス用品を明日くるアスクル

翌日お届け!

オフィス用品デリバリーサービス! 無料カタログ申込は下記まで

最北伝説の地 鶴岡神社前 のだ事務機

☎0194-36-1030 FAX0194-35-3016

岩手日報普代販売センター 金子新聞店

DVDダビング

大切な思い出をDVDに永久保存!

二人なかよく幼稚園の遠足 一生心に残る名勝負... 思い出の旅行...

ビデオテープをDVDに! ベータ・8ミリ・DVCのテープからもOK!

当店通常価格1枚120分まで1,500円(税込) 8ミリフィルムもダビングOKです!! 価格応談

(有)坂下電化センター TEL 35-2138

塗装

茂石総業 代表 茂石祐次 ☎35-2933

戸籍の窓

11月分（敬称略・順不同）

お誕生おめでとう（2人）

畠山 茉白（正也・祥子） 旭日区
太田 菜々美（勝則・悦子） 太田名部

ご結婚おめでとう（1組）

熊本 景介） 堀内
坂本絵梨佳） 久慈市

お悔やみ申し上げます（2人）

野場角太郎 芦渡 91歳
熊谷 敬亮 旭日区 82歳

交通安全 対策情報

■村内の交通事故《11月》

人身事故 0件（4件）

物損事故 1件（27件）

※（）内は1月からの累計

飲酒運転検挙者 0人（0人）

※（）内は8月からの累計

■救急車の出動回数《11月》3回

■飲酒運転検挙状況（県交通安全対策協議会調べ）

県内35市町村中ワースト順位…**23位**
（10月31日現在）

県内の検挙者数《10月》28人

人口と世帯

11月末現在

	前月比	前年比
人口	3,129人（-1）	（-44）
（男）	1,529人（-4）	（-19）
（女）	1,600人（+3）	（-25）
世帯	1,121戸（+2）	（+2）

広報ふだい12月号 No.571

発行日 平成21年12月22日
編集 普代村役場 総務課
〒028-8392
岩手県下閉伊郡普代村
第9地割字銅屋13番地2
TEL 0194⑥2111 FAX 0194⑥3017
ホームページ <http://www.vill.fudai.iwate.jp>
電子メール fudai@vill.fudai.iwate.jp
印刷 有限会社 九戸印刷

やったね!「金賞」

ふるさとCM大賞

30秒の手作りCMで古里をPRする「ふるさとCM大賞inIWATE2009」（岩手朝日テレビ主催、県など後援）が12月6日、盛岡市のいわて県民情報交流センター・アイーナで開かれ、村の作品「ふだいコンブ伝説」が見事金賞に輝きました。

CMの内容は村特産品のコンブを食べると、髪がフサフサになったり、美人になるとう伝説（架空）をテンポよくまとめ、普代のコンブの魅力でPRしました。小学生との合同制作で、企画、出演、撮影など子どもたち自身が携わりました。

CM大賞には県内35市町村中30市町村が参加。金賞受賞の作品は年間150回放送されます。

●審査会放送日時…12月26日（土） 午後4時～（岩手朝日テレビ）



山本晋也監督と肩を組んで喜ぶ出演者（前列左から赤坂小春さん、上向泰蔵君、山本監督、宮本彩乃さん、上方さくらさん、太田拓希君、後列左から煤賀啄美君、村教委のグレゴリー・ホフリンさん、森田陽さん）

おとうさん おかあさん あのね・・・ 271



ゆづかちゃん（普代児童館さくら組）

かわむかいゆづか（川向柚歌・6歳）ちゃんから父・政浩さん、母・真由美さんへ…おかあさんのつくるカレーライスやてんぷらが大好き！クッキーやケーキ、ドーナツもおいしいよ。おねえちゃんといっしょにわたしもおかしづくりしたいなあ。えほんやかみしばいもよんでくれたり、ラッキー（犬）のおさんぼも、うれしいなあ。おとうさんは、おしごとでおそくかえってくるので、ゆうごはんつくってまってるよ。ビールのものでおいしそうだよ。こんど、スケートしにいこうね！ やくそくだよ！

「本当に苦しんでいる状況を広報に掲載していいのかわかぬが悲しむのではないのか」「広報に掲載してもどうせ…」「でも結論は現場を見てから決めよう。今回の特集はそんな思いから始まり、迷いの中で取材に入りました。しかし、定置網の現場にはそんな思いを吹き飛ばす現実がありました。そんな中、「おれはあど少しだが、若いもののためにも、頼むぞ」と熊谷實さんに言われた一言で決心が付きました。「何もなければ、それまでだ。何とか力になりたい」。そんな思いを抱きながら作った特集でした。ご協力いただいた皆さんに本当に感謝いたします。今年も残り少なくなりました。雪が降りないうちに、家の周りを掃除して新年を迎えたいと思います。どうぞ皆さん良いお年を。（森田😊）

